

登場人物

※本誌262話までの内容に触れています。
自己解釈が多いので読む際は深く考えずふわっと読んで下さい。



五条 悟(28)
物心ついた頃には呪術師だった頃の記憶が蘇っている。
恵を探してフラフラしていたところ偶然悠仁と野薔薇にも再会。
以降、恵の動向を聞くために定期的に会っている。



伏黒 恵(15)
最近サングラスを掛けた男に付き纏われて困っている。
悠仁と野薔薇とは同級生。



虎杖 悠仁(15)
恵の同級生。前世の記憶あり。
クラスメイトに校門前でイケメンがうろろうしていると聞いて面白半分で見に行ったら五条だった。



釘崎 野薔薇(16)
恵の同級生。前世の記憶は途中からあり。
五条に捕まっている悠仁を見かけた際に呪術師だった頃の記憶が戻った。

白
縹
の
よ
す
が
が



生まれ変わりって
信じる？



？
どういう
意味ですか



質問の意図を
聞いているんです



いや
意味は
知っています



死んだ魂が
巡り廻って
時を経て
同種或いは
別の形として再び
生まれ落ちること

慶長の時代
僕と恵と同じ術式を
持った当主が御前試合
した話覚えてる？

あれって
多分

僕と恵
だと思う

何いふんだ
ト...

…なんで
また

ん
助かな？

あとは
まあ

初めて君に
会った時
僕の「魂」が
そう言ってる
気がした



五条先生は

信じますか？
魂の巡り合わせ



さあ
どうだろうね

でもきつと



「今」の僕が
終わったと
しても

来世でも
恵に出逢える
気がする



こうやって
何百年も
時代を越えて



僕達の魂が
再び交わった
ように



恵のこと
忘れる方が
難しい



俺も
そんな
気がします

ていうか嫌でも
忘れられませんよ
五条先生みたいな人



あゝ
クソッ

あれから
どの位
経っただろう

この世界に
呪術師は
存在しない

…どの口が
言っただか



この世界は
平和だけと

呪霊も呪術師も
いなくて
少し物足りない



僕は再び
「五条悟として
今世に生を
授かった

「あの頃の
記憶を残して



街や人
あの頃と少し
似ていてどこか
違う

そんな世界で
僕はまた
恵と再会をした





僕の
記憶なんか
一切なかったけど

まあ
肝心の
恵には

…また
アンタですか



あの、
五条さん？
でしたっけ

ん？



恵は
恵じゃん

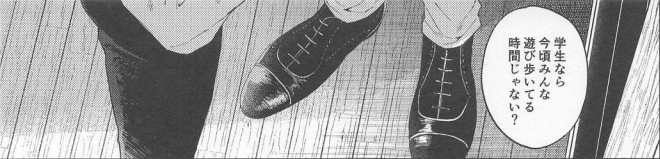
え

良い加減
恵って呼ぶの
やめて
もらえますか



相変わらず
本好きだね

恵は



学生なら
今頃みんな
遊び歩いてる
時間じゃない？



ほら！

渋谷とか
原宿とか

どういう
偏見ですか

つか
嫌いなんですよ
昔からあの辺り
行くの



ふん

なんで？





ここに来たら
恵に会える
からネ♡

はいはい

とてつもなく
塩対応ッ

えっ



だから
知りませんよ



ていうか
五条さんこそ
変わってますよね

こんな辺鄙な
図書館に
来るなんて

まあこって
巻に出回らない
本が多いからさ

命と能力

…人のこと
言えない
ですけど

ははっ

違う
違う！

いつも
変わった本
読んでますよね

超能力者にも
なりたいん
ですか？

つっても僕も
むか〜しは
使えたんだよねえ
超能力みたい
なもん



僕はねえ
簡単に言うと
バリアが
張れたり

あとは
空中なんかも
歩けたよ

近いな
まあ
そりゃ...

ぐい

あ

信じて
ないな

じと



…非現実的
ですね

それで悪いやつ
やっつけて
世界救ってたの

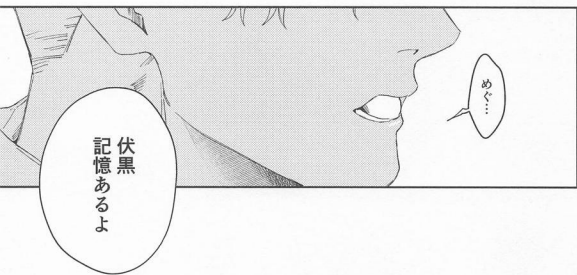


ワンちゃん出して
ペットにする
子もいたんだ

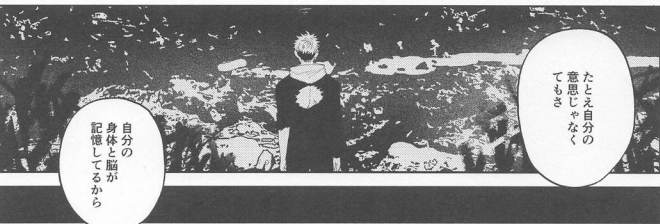
他にもね
こうやって
手で形を
作ってさ



影から犬
出すなんて
変な
ますね






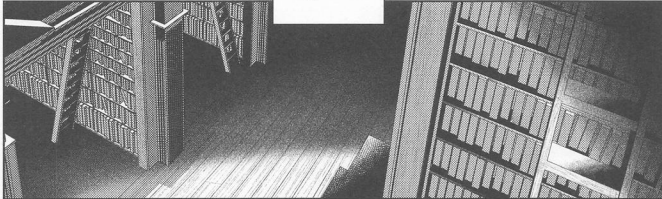




分かってるよ



消えない過去に
苦しむ辛さは
痛いほど分かる
から



だから
「君は悪くないで
救いの言葉を
安易にかけることが
僕にはできない



そんな堅く
ならないでよ



少し話を
しよっか



まあ
五条さん
相手に

いつまでも
隠し通せるなんて
思っただけじゃ
ないよ

そりゃ
そうだ

酷いじゃん
知らんぷり
するなんて



何しに
来たんですか？



物語も
クソもない
まるで
映画を観ている
気分でしたよ



戦っている
五条さんの
表情



壊されていく
建物や消えていく
人たち



目の前に
流れて
来るんです



でも、
それだけじゃ
なくて

手に残って
いるんです
アタタを斬った
時の感触が

嫌でも
思い出して
しまうから

五条さんが
俺自身に
罪はないと
否定してくれても

俺は俺自身を
許すことなんて
到底できません

だから
会いたくなんて
なかった

どんなに時間が
経とうが俺が
アンタを殺した
事実は消せない

…僕さ

正直に言う
死ぬこと自体に
後悔はなかったの



ずっと消えずに
残っていた輝りが
なくなっただけ

まあ
それはそれは
晴れやかだったさ

みんなには
悪かったけどね



間違いない
どちらも
僕だった



過去の自分を
断ち切れなかった
僕も



教師として
未来を目指した
僕も



そんな僕が
死に際に

一つだけ
心残りがあって
思い出したのは

君の
ことだった



初めて恵に
出会えてから
九年

話せるタイミング
なんていつでも
あったんだ



結局言えずじまいで
最期は人任せって
まあ僕らしいよ



父親のことも
直接話せなくて
ごめんね



君に
嫌われることを
酷く恐れて
いたから

だから
「好き」の一言も
伝えられなかった

あの頃の
寂しかった
僕の心の
拠り所は

恵だった

もう誰かに
期待するの
も大切な
ものを作
ることも

虚しいだけだから
諦めようって
思った筈だった

それでも
時間と共に
降り積もる



君への
愛情と

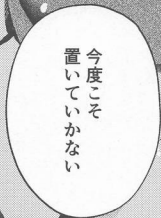
臆病な僕の
後ろめたさが



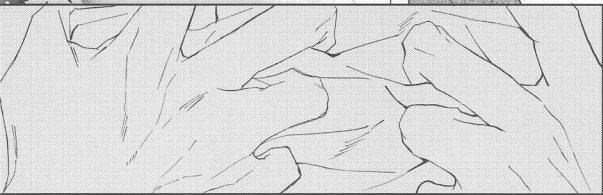
置いて行かれる
辛さは誰よりも
分かっていた
筈なのに



あの時
先に行って
ごめんね



今度こそ
置いていかない





...本当に
良いんだよね?

おまー...

ザッ



俺は呪術師やってた
「あの時」からずっと
五条先生に
抱かれましたよ
思っていましたよ



…今更
何言ってる
んですか



ふふっ
それは
初耳

ナイショに
してましたから



かな...



ずっと
恵が好きだって
こと
ナイショに
してたから
やっと言えて
嬉しいよ



僕もさあ



くち...



...挿れるよ

はっはっはっ

あ

は

は

はっはっはっ

はっはっはっ

はっはっはっ

はっはっはっ

はっはっはっ

あ

はっはっはっ

あ

はっはっはっ

はっはっはっ

はっはっはっ



「白縹のよすが」

発行日 2024年6月30日
発行者 らっきょう(かれーらいす)
Twitter @mmsks
mail mu.roku.12@gmail.com
印刷 サングループ様

恵
僕の家
に
越
して
お
い
で

甚…

…待
って
一
応
聞
く
け
ど
親
父
っ
て

そ
う
い
え
ば
親
父
に
五
条
さ
ん
は
元
気
か
っ
て
聞
か
れ
ま
し
た



白標のよすが

